

# 松田和樹先生から ご参加される皆様へのメッセージ

皮膚は「目に見える臓器」であり、臨床医学の入り口として格好のフィールドです。皮疹を通じて全身の病態を読み解く面白さを、若い先生方にお伝えできたらと考えています。私自身、研修医の頃には各診療科の先輩方に教えていただきながら多くを学びましたが、コンサルテーションを受ける立場になって初めて気づくことも数多くありました。皮膚科領域は、症状の変化が目に見えるからこそ、治療がうまくいったときの喜びは大きく、診療現場におけるコミュニケーション訓練の機会としても非常に有用です。研修中に皮膚疾患で迷うことがあれば、どうか一人で悩まず、ぜひ一緒に考えていきましょう。